

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
国 語	古 典 探 究	2	3	CST	13組

教科書	「精選 古典探究 古文編」(三省堂)	副教材	「読解を大切に 体系古典文法」(数研出版)
	「精選 古典探究 漢文編」(三省堂)		「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店) 「読んで見て覚える重要古文単語315」(桐原書店) 「新訂総合国語便覧」(第一学習社)

科目の目標	<p>1. 古典を読み味わう楽しさを知る。また、古典を読み味わうことを通して、多様な価値観を理解する態度を養う。</p> <p>2. 古典に関する基本事項（文法、語法など）を確認するとともに、文章の内容を的確に捉える力を高める。</p> <p>3. 古典について幅広く学び、語彙力と読解力を拡充させることで、大学入学共通テストに対応できる学力を養う。</p>
-------	---

科目の概要	<p>1. 古典を読み味わう力を育み、作品を理解することによってものの見方、感じ方、考え方を広げ、人生を豊かにする。</p> <p>2. 古典に関する基本事項（文法、語法など）を確認し、その知識を活用しながら文章を読む。</p> <p>3. 古典について幅広く学び、基礎学力到達度テストに向けた言語能力と読解力の拡充を図る。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知識・技能」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	○使用する言葉を増し、語感を磨くことができたか。 ○言葉には文化の創造、継承、発展を支える働きがあることを理解できたか。 ○文章における特徴的な表現技法と効果について理解できたか。 ○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できたか。	○文学作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができたか。 ○文学作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができたか。 ○体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の構成、展開、文体、描写等を工夫して表現することができたか。	○文学作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、文学作品について自分の考えを持つことができたか。 ○題材や素材を吟味しながら、文章の構成、展開、文体等を工夫して表現することができたか。 ○読書の意義と効用について理解できたか。
評 価 の 方 法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、各学期末の平常点で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	古文 「塔の偽の金物」「やさしき蔵人」「貫之と躬恒」 「父の出立」「江戸から故郷へ」「和歌の道」 漢文 「父の葬儀」「余裕の生活」「我が身を顧みよ」 「太宗の政治」「名君には聡明な皇后」 『古文単語315』第1章 【1学期 中間試験】 5月20日～23日	【古文】 ○用言・助動詞の復習をする。 【漢文】 ○句法を復習をする。
	古文 「身の憂さを」「元輔の娘」「童と薬球」 「成経の帰京」「尼君を見舞う」 「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 漢文 「身をもって知る」「肩の力を抜いて」「鶏はいつ鳴く」 「見極める力」「故郷を想う」 『古文単語315』第2章 【1学期 期末試験】 7月1日～5日	【古文】 ○用言・助動詞の復習をする。 【漢文】 ○句法を復習をする。
2 学 期	・基礎学力到達度テスト対策 ・中間試験の問題は1学期に学んだワークから出題する 【2学期 中間試験】 10月15日～18日	【古文】 ○基礎学力到達度テストで実力を発揮できるようにする。 【漢文】 ○基礎学力到達度テストで実力を発揮できるようにする。
	「源氏物語」「物の怪の出現」 「墨子」「非攻」 【2学期 期末試験】 12月2日～6日	【古文】 今までに身に付けた文法事項を活かして「源氏物語」を読み進めながら中古の日本人の文化や考え方を理解していく。 【漢文】 今までに身に付けた文法事項を活かして「墨子」を読み進めながら当時の中国の文化や考え方を理解していく。
3 学 期	特別編成授業 【3学期 学年末試験】 3月4日～8日	